

【福祉・心理】

◎主な配属先、業務内容

■本庁

地域福祉課



- 生活保護の事務について、市役所や県の健康福祉センターからの相談対応、監査等を実施

子ども家庭課

- 児童相談や配偶者暴力(DV)に関する業務について、研修や啓発キャンペーンの実施、統計処理等



■ 出先機関

健康福祉センター



- 生活保護を受給している方への支援
- 身体障害者手帳の発行
- 施設を検査し、バリアフリー化を促進

総合福祉相談所

- 児童相談所、婦人相談所、身体・知的更生相談所、精神保健福祉センターなどからなる、児童、女性、障がいにかかる相談所
- 助言指導や市町、関係機関と連携した支援



こども療育センター



- 医療ソーシャルワーカーや心理士として、こども療育センターを利用される方や、保護者の方、地域の関係機関等への支援

和敬学園

- 入所児童の生活指導、併設の杉坂小中学校と連携した学習指導、および農作業などの作業指導等を行い、児童が自立できるよう支援



県立病院

- 高度急性期病院での治療を受けられた患者さんが、安心して住み慣れた地域に戻れるよう、地域の医療機関や介護サービス事業者等の皆様と連携しながら、相談支援や退院支援、心理支援を実施



【福祉・心理】令和2年度採用



総合福祉相談所

三ツ井 千晴

(兵庫教育大学大学院
人間発達教育専攻 臨床心理学コース 卒業)



【主な担当業務】

- ・児童福祉司として原則18歳未満の子どもに関する支援
 - ・児童養護施設に入所中の子どもの支援
- (市町や学校・医療と連携しながら保護者との面接や家庭・施設訪問を通して、子どもたちのより良い暮らしに繋がるよう援助)

◎ある一日のスケジュール

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	15:00	16:30	17:15
業務開始、 メールチェック	電話対応、 記録入力	保護者面接	電話対応、面 接記録入力	昼休み	相談対応・会 議資料作成	家庭訪問	施設への電 話連絡、対応 記録入力	業務終了

◎福井県職員を志望した理由

福井県へ入庁する以前は、兵庫県内の市で児童福祉サービスの支給決定に関する非常勤公務員をしていました。しかし、前職では提供できるサービスや支援に限りがあり、直接相談や支援を行うことができませんでした。また、**ゆくゆくは地元である福井に戻り、県外で培った経験を活かしたい**という思いもあったため、**より広く県民にかかわり、さまざまな形で対人援助ができる福井県職員を志望**しました。

◎仕事をはじめて感じていること

医療機関、学校、市町などさまざまな機関の方と一緒に仕事をする機会が多いため、専門的な知識も必要ですが、それ以上に**コミュニケーション能力（意思伝達力や対人調和力等）が重要**だと感じています。立場が違えば考え方や思いも異なります。相手の意見を傾聴しながら、自分の意見も伝えることは非常に難しいですが、**仕事を円滑に進めるためコミュニケーションを意識**しながら業務に従事しています。

◎魅力・やりがい

子どもや保護者の問題点や困りごとを的確に把握し、それぞれの子どもや保護者、そして家庭に必要な支援を行うことが、**子どもたちのより良い暮らしに繋がる**と感じられることは魅力の一つです。さまざまな機関の方と仕事をする中で、異なる分野からの視点を学べることは、知見を深めることにも繋がり、非常にやりがいを感じる点です。

◎採用試験対策

福井県の場合、一般教養よりも専門試験のほうが配点比率が高かったため、専門試験を重点的に勉強しました。また、教養試験は自治体や職種別に対策された問題集を使って勉強しました。

職員採用試験の受験を決めてから試験日まであまり時間がなかったこと、働きながら試験勉強をしていたため、**過去問から出題傾向を把握し、文章理解や数的処理の対策**をする一方、得点源になりにくいと判断したものについてはほとんど勉強しないなど、**メリハリのある勉強**を心掛けました。

専門試験についてですが、福祉領域・心理領域のいずれかを選択し解答します。私の場合、**公認心理師資格取得のための試験勉強の内容が、採用試験と重なる部分があったため、資格試験対策で専門試験をカバー**することができました。

◎後輩たちへ一言

新規採用職員にはアドバイザーやトレーナーがついており、自分が抱えている仕事の悩みや葛藤について一緒に考えてもらえるので、一人で抱え込んで誰にも相談できない、ということはありません。また**研修制度も充実**しているため、大学などでしっかり学んでいない分野に配属されたとしても、不安に感じることなく業務に従事できると思います。

自分の知識を生かし、また、新たな知見を吸収しながら、福井県の未来を担う子どもたちの幸せのために一緒に働きましょう！